

みんなの 社協しづおか

広げよう福祉の輪
つなげよう地域の輪



☆静岡市社会福祉協議会ホームページアドレス <https://www.shizuoka-shakyo.or.jp> メール info@shizuoka-shakyo.or.jp



公益財団法人 日本財団 様の助成で福祉車両を配備しました

11月15日(木)、公益財団法人日本財団様より訪問入浴車両(トヨタライトエース)を寄贈していただきました。
本会の「訪問入浴サービスはーとぴあ清水」にて活躍中です。
新しい車両を迎え、今後もご利用者様に安心・快適なご入浴をしていただけるよう職員一同努めてまいります。

INFORMATION

医療・福祉・司法 なんでもかんでも相談会

医療・福祉・司法にかかわるどんな相談も受け付けています。お気軽にお越しください。
と き／2月2日(土)
14:00～16:00(最終受付15:30)
と こ ろ／静岡市清水医師会(清水区渋川)
対 象／子どもから高齢者、外国人の方など
なたでも、※相談無料
問合せ／静岡市暮らし・しごと相談支援センター
TEL.054-371-0305

「市民交流まつり」を開催!

※詳しくは2ページをご覧ください。

市民交流まつりinはーとぴあ清水

と き／2月3日(日)10:00～14:00
と こ ろ／はーとぴあ清水(清水区宮代町)
問合せ／ボランティア・市民活動センター清水
TEL.054-371-0290

市民交流まつりin中央福祉センター

と き／2月16日(土)10:00～14:00
と こ ろ／中央福祉センター(葵区城内町)
問合せ／施設サービス課
TEL.054-273-8133

地域の支えあいシンポジウム 開催

住み慣れた地域に必要なことを一緒に考えてみませんか。
と き／2月25日(月) 13:30～15:30
と こ ろ／城東保健福祉エリア(葵区城東町)
内 容／講演、実践報告など
対 象／地域福祉活動やボランティア活動
に関心のある方 ※参加無料
申込み／下記問合せ先までお電話ください
締 切／2月21日(木)まで[先着順]
問合せ／地域福祉交流プラザ
TEL.054-249-3183

ママのための災害講座

小さな子どもを抱えたママが、災害時にはどのような準備や心備えが必要かを学びます。ランチトークでは情報交換も行います!

と き／2月28日(木) 10:00～12:00
(その後ランチトークあり)

と こ ろ／地域福祉共生センターみなくる
(駿河区南八幡町)

講 師／(認定NPO)はままつ子育て支援
センターひづり
理事長 原田博子氏

対 象／興味のある方どなたでも
※参加無料

※お子さま連れの方もお越しください

持ち物／筆記用具

ランチトークへ参加する方は昼食
申込み／下記問合せ先までお電話ください

締 切／2月21日(木)まで

問合せ／駿河区地域福祉推進センター
TEL.054-280-6150

リフト付・スロープ付車両操作 講習会【運転ボランティア募集】

車いす使用者や歩行困難なご家族や友人との出かけませんか?

と き／3月23日(土)13:30～15:30
と こ ろ／はーとぴあ清水(清水区宮代町)

対 象／◎普通自動車運転免許を取得してから1年以上の方
◎運転ボランティアに興味のある70歳までの方 ※参加無料

持ち物／運転免許証・筆記用具
申込み／下記問合せ先までお電話ください

締 切／3月19日(火)まで

問合せ／清水区地域福祉推進センター
TEL:054-371-0292

第54期「清水壽大学」 受講生募集

生涯学習の一環として、各自の教養を高めるとともに、心身の健康増進と仲間づくりを進めています。共に学んでみませんか?

入学資格／60歳以上の静岡市民の方
講 義 日／原則毎月第2・4水曜日
(8月は夏休み)

講義場所／はーとぴあ清水(清水区宮代町)

受 講 料／年額8,000円

募集定員／300名

問 合 セ／壽大学事務局(はーとぴあ清水2階)
TEL.054-371-0293



平成30年
10月1日～11月30日

心あたたまるご寄付ありがとうございました

ご芳名

- | | |
|-------------------------|---------|
| ●和代様 | ●川嶋 晃様 |
| ●木村自佑様 | ●坂野明彦様 |
| ●望月威男様 | |
| ●公益社団法人 清水法人会様 | |
| ●静岡県仏教婦人会様 | |
| ●静岡市由比文化連盟 代表 佐藤幸治様 | |
| ●ジャトコ株式会社 蒲原地区 | |
| ジャトコフェスタ実行委員会様 | |
| ●ステーションナリーランド隆運堂様 | |
| ●中央静岡ヤクルト販売株式会社様 | |
| ●弥生親交会様 | ●葵親交会様 |
| ●つじ親交会様 | ●羽衣親交会様 |
| ●特定非営利活動法人 リヨービ社会貢献基金様 | |
| ●中日本教養センター代表 (有)ファムコケット | |
| 代表取締役 山田さち江様 | |
| ●マックスバリュ東海株式会社 | |
| ◆マックスバリュマークイズ静岡様 | |
| ◆マックスバリュ清水興津店様 | |
| ◆マックスバリュ清水三保店様 | |
| ◆ザ・ビッグ静岡豊田店様 | |
| ◆ザ・ビッグ蒲原店様 | |
| ●匿名様 4件 | (順不同) |

今号の表紙

「市民交流まつり」

ボランティア団体や福祉団体が集い、広く市民に向けて日頃の活動をPRする場です。活動紹介、福祉体験や自主製品販売など、会場が笑顔と楽しいことでいっぱいになる1日です。今号では、2月にはーとぴあ清水と中央福祉センターで開催される市民交流まつりを紹介します。
※詳しくは2ページをご覧ください。

市民交流まつりに向けて猛特訓中!



市民交流まつりに向けてダンスの練習に励むエンジョイ体操の皆さん

市民交流まつりに遊びにきてね!

福祉のまちづくりに貢献して40年
清水地区ボランティア連絡会のあゆみ

生活のしらずさ、さまざまな方法で支援します!
静岡市暮らし・しごと相談支援センター

葵 区 福祉教育ってなんだろう?
共に生きる力・支えあう心をはぐくむ福祉教育

地域を担う 私 のしごと Vol.5
社会福祉法人 清雲会 巴の園 調理員 堀 優太さん

《広げよう福祉の輪》髪で行う社会貢献《ヘアドネーション》

P6
P7

市民交流まつりに遊びにきてね！

ボランティア活動に興味のある方、ご来場お待ちしています!!

自分たちの地域を安心して心豊かに暮らせるまちにするため、ボランティア活動に興味・関心のある方や、すでに地域でボランティア活動や市民活動を行っている方々が、活動拠点である「はーとぴあ清水」と「中央福祉センター」に集い、ボランティア仲間の交流や活動の輪を広げるよう開催します。



市民交流まつり in はーとぴあ清水



◆市民交流まつり in はーとぴあ清水
とき／2月3日(日)10:00～14:00
ところ／はーとぴあ清水(清水区宮代町)
問合せ／ボランティア・市民活動センター清水
TEL.054-371-0290

学生ボランティアも活躍「民話いろり会」



清水区で活動するボランティアグループやNPO、障がい当事者団体がはーとぴあ清水に大集合!!
ステージの発表やパネル展示、福祉体験などを日頃の活動をPRします。

例年、来場された皆さんと参加団体による交流がはーとぴあ清水で行われ、大きな賑わいを見せています。

また、高校生・大学生を中心としたボランティアが100名以上大活躍し、ボランティア活動の魅力を力いっぱいお伝えしています。

市民交流まつり in 中央福祉センター

福祉活動の拠点である中央福祉センター。

センター内には、市内でさまざまな福祉活動を行う団体が事務所を構え事業活動を行っており、また、ボランティアグループや福祉団体の活動の場としても利用されています。

これらの団体が中心となり実行委員会を組織し、楽しみながら福祉活動にふれられるイベントを企画しました。今回は「つみきのそのさん」をお招きして積み木遊びを行います。



ステージ発表、自主製品の販売など、活動紹介や楽しい交流企画もあります。子どもから大人まで、どの世代も気軽に福祉活動と出会える機会です。ぜひご家族でお立ち寄りください。



◆市民交流まつり in 中央福祉センター
とき／2月16日(土)10:00～14:00
ところ／中央福祉センター(葵区城内町)
問合せ／施設サービス課
TEL.054-273-8133

貢献して40年 福祉のまちづくりに

清水地区ボランティア連絡会のあゆみ

- 1978年（昭和53年）
●前身となる清水市ボランティア連絡協議会結成・発足
旧清水市長へボランティアビューロー開設の要望書提出
1979年（昭和54年）
●清水市南部公民館にボランティアふれあい広場開所
●清水市ボランティア連絡協議会の解散
「清水市ボランティア連絡会」を再組織化
●「ふくしのまつり」の前身「ふれあいフェスティバル」開催
1999年（平成11年）
●「はーとぴあ清水」の完成に伴い、1階ボランティアビューローへ事務局を移設
2003年（平成15年）
●旧静岡市、旧清水市の合併に伴い、旧静岡市ボランティア団体連絡協議会と旧清水市ボランティア連絡会が合併。会の名称を「清水地区ボランティア連絡会」に変更
2018年（平成30年）
●清水地区ボランティア連絡会設立40周年

清水地区ボランティア連絡会は、ボランティアや障がい当事者団体が自分の活動の枠をこえて連携し、共に学びあう場を作っていくことを目的として結成されました。

11月11日(日)に行われた、設立40周年記念講演会と、清水地区ボランティア連絡会のあゆみをご紹介します。



あいさつ



清水地区ボランティア連絡会
杉浦 実会長

記念講演



静岡県ボランティア協会
小野田 全宏理事長

清水地区ボランティア連絡会には66団体が所属し、ボランティア活動をしている仲間が大勢いることが私の喜びとなっています。このボランティア連絡会が50年、60年と節目を迎えるよう皆様と共に活動をしていきたい」という加盟団体への感謝の気持ちと決意を述べられました。

また、設立40周年記念事業として、多くのボランティア団体から寄せられた一言コメントを掲載した記念誌を作成したので、ぜひご覧になっていただきたいと紹介がありました。

「笑顔は天の花 ～清水地区ボランティア連絡会40周年によせて～」

「ボランティアが持っている自発性は限りなく広がっていくものだ」とボランティア活動の可能性について触れた上で、「皆さんのアイデアとエネルギーをもっともっと広めていっていただきたい。設立40周年を迎えた今だからこそ、豊かな発想を持って活動してほしい。ぜひその思いを大切にして活動をしてほしい」と清水地区ボランティア連絡会の更なる発展を期待したお言葉をいただきました。



会場のはーとぴあ清水には100人を超える来場者がありました

清水地区ボランティア連絡会に感謝の便りが届きました

障がい当事者団体代表者より

難病と闘いながら夫と作品展を開催できたのは、設営から受付け、片付けまで、ボランティアの皆さまがご協力くださったからです。私たちの心情をくみ取ってください、活動を越えて支えあうことの素晴らしさにふれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

生活のしづらさ、さまざまな方法で支援します!

静岡市暮らし・しごと相談支援センター

事例1 地域の方から提供いただいた物の有効活用

ひとり暮らしの高齢の方が、エアコンを取り付けるための資金を借りたいと相談に来られました。しかしながら、ご本人より「エアコンは贅沢品なので取り下げたい。」との申し出がありました。今年の夏はとりわけ暑く、ご本人の体調を心配していたところ、「冷風機を譲ってくれる方がいる」と民生委員・児童委員の方から当センターに連絡がありました。提供いただいた冷風機を「ちょいボラ」(※1)のみなさんに搬入・設置していただき、ご本人からは猛暑の今夏をなんとか乗り切れたと伺いました。

※1)ちょいボラ:生活に困っている方のさまざまなお手伝いをしてくれている生活支援ボランティアグループ



事例2 ボランティアグループへの参加から就労へ

中学校を卒業してから仕事に就くことが出来なかった20代男性。何もかも自信が持てず引きこもっていました。

センターとの相談で、まずは外出の機会を増やそうと、週1回、ボランティアグループに参加することになりました。周りと打ち解けるのに時間がかかりましたが、周囲のボランティアの方々の明るい雰囲気に助けられ次第に楽しくなり、参加日数が増えています。

そして、本人の状態に合わせて採用いただける地元の企業からお声かけをいただき、短時間勤務での就労が決まりました。現在はさらなる自立に向かって毎日がんばって仕事をしています。

事例3 地域の方と協力して就労体験

相談者の多くは、社会と離れた期間が長く、社会とのかかわりに不安を抱えています。そこで地域の方から軽度の農作業(畑の作物収穫や袋詰め、ラベル貼りなど)の就労体験を紹介していただき、自立に向けたステップとして実施しています。

こうした農作業は青空の下で健康にもよく、達成感もあります。

65歳以上でお仕事を退かれた方にも、作業や指導にご協力いただいており、その方の生きがいづくりにもつながっています。



相談される方に合った制度やサービスを紹介したり、お悩みを伺うだけでは、その方に自立していただくことは難しいものがあります。

これらの事例のように、地域とのつながりが少ないと、自分に自信が持てないなど、制度やサービスでは解決

できない問題も多く、センターでは社会とのつながりを取り戻すことを大切に考え、ボランティアグループや地域の方々、企業、専門職団体などの力を借りて、相談支援活動を続けています。

福祉教育ってなんだろう?

共に生きる力・支えあう心をはぐくむ福祉教育

福祉教育は、一人ひとりが生きる喜びを感じることができる「自分のしあわせ」と「みんなのしあわせ」をともに考え「ともに生きる力」をはぐくむことを目標とした教育です。

福祉についての理解を深める・福祉のこころをはぐくむ・福祉にかかる実践力をはぐくむ。この3つの側面から生活と結びつき、日常生活の福祉課題に気づき、学びが活かされ実践していくものと考えています。

今号では、静岡市立井宮小学校4年生の「総合的な学習の時間」の中で行われた福祉教育の取り組みを紹介します。「つながろう 共に生きよう」をテーマに自分たちの住んでいる地域でそれぞれの立場や気持ちを思いやり、支えあうことの大切さを学びました。



車いすや歩行器に触って高齢者や障がいのある方の気持ちがわかりました。私には90歳のひいおばあちゃんがいるので車いすを押す勉強になりました。



「赤い羽根共同募金」
支えあいの仕組みを学ぶ

静岡市立井宮小学校4年生
「福祉フェスティバル」の活動

みんなで、
楽しく
学習したよ！



「児童発達支援事業所なづな」
一人ひとりの個性を学ぶ



「しそ～か でん伝体操」
介護予防を学ぶ

みんな違ってみんないい
心に響く言葉です。困っている人を助けるには勇気がいるけど、役に立ちたいのでチャレンジしたいと思いました。

病気や生活に困っている人や地域の人が安全で幸せに暮らせるように赤い羽根の共同募金を行っていることがわかりました。



思っていたよりむずかしくてびっくりしました。私のおばあちゃんとおじいちゃんに教えてあげて、ずっと健康でいてほしいと思いました。

井宮小学校の先生からのメッセージ

まったくのゼロからのスタートでしたが、葵区地域福祉推進センターのお力を借り、さまざまな福祉体験を楽しみながら多くの人がしあわせに生きるために工夫について考え、子どもたちは福祉をより身近に感じ「実践していく！」という気持ちをはぐくむことができました。

ボランティアの方からのメッセージ

5年目を迎えた私たちの体操教室に、介護予防について教えて欲しいと依頼があり、ボランティア7名で、でん伝体操やちやきちやき体操などを行いました。子どもたちは目がキラキラと輝く楽しそうで、質問コーナーでは多くの質問で時間が足りない位でした。子どもたちからたくさんの元気をもらいました。

(籠上 でん伝体操教室オレンジ)

一人ひとりに合わせた一皿を

料理を作る仕事というと、誰を思い浮かべますか？レストランのコックさん？料亭の板前さん？

そんな中、福祉の世界でも料理を提供する仕事をしている方がいらっしゃいます。

今回は、清水区にある介護老人福祉施設「巴の園」で調理員として働いている堀優太さんにお話を伺いました。

この仕事に就いたきっかけは？

調理の専門学校で、福祉分野で働いている卒業生の話を聞いたのがきっかけです。

高校時代にボランティア部に所属し、「誰かのためになることをしたい」との想いから、障がい者施設での給食業務を経て現職に就きました。

どんなお仕事をされているのですか？

利用者の皆さんのお食事提供が主な仕事です。仕込み



お問合せ／巴の園 TEL.054-354-1527

社会福祉法人 清雲会 巴の園
調理員

堀
優太
さん



はもちろん、食器の用意や盛り付け・配膳も行いますし、嚥下機能を考慮し、ミキサー食や刻み食など、一人ひとりに合わせ5パターンの食事形態で提供を行っています。

仕事のやりがいを教えてください

レストランなどと違い、利用者の皆さんの日常生活の一部であるという実感がありますし、顔が見えることで名前を覚えてもらい、「ありがとう」という言葉がいただけることがこの仕事の魅力だと感じています。

調理を学んだり、調理に携わっている方にメッセージを
調理というとレストランやホテルが真っ先に思いつくかと思いますが、福祉の世界でも腕を活かせる道があることを知って欲しいです。そして、多くの調理に携わる人に福祉分野の魅力を肌で感じて欲しいと思います。

利用者の皆さんに楽しんで食べて欲しい、食べて元気になって欲しいという堀さん。

自分の料理を楽しみにしてくれて、食べた人が笑顔になる喜びをかみしめながら、今日も腕を振ります。

第16回 静岡市社会福祉大会を開催

10月24日(水)、グランシップにおいて「第16回静岡市社会福祉大会」を開催しました。

市内の福祉関係者約1,000人が来場し、社会福祉事業に功績のあった141名49団体に表彰状・感謝状が贈られました。

また、弁護士法人つくし総合法律事務所 大胡田誠さんによる記念講演では、全盲で司法試験に合格した苦労や生活の様子を通じて、困難に向かいながら明るく生きるその人柄に来場者から多くの共感の声をいただきました。



あいネットグループ 寄付金助成金を受けました

特定非営利活動法人 静岡市障害者協会

社会福祉法人花園会と協働し、障がいのある人たちの生活を地域全体で支える仕組み「地域生活支援ネットワーク『まいむ・まいむ』」を立ち上げました。今回は、この事業に従事する相談調整コーディネーターが、相談依頼先で利用するノートパソコンとプリンターの購入費を助成いただきました。この機器の導入によりネットワーク事業が円滑に機能するよう協議を進めています。ありがとうございました。

※平成30年度は、その他に12団体が活動に利用する備品などの購入費の助成を受けました。

ネットワーク事業に関する協力団体との協議の様子



広げよう 福祉の輪

髪で行う社会貢献《ヘアドネーション》

ヘアドネーションの活動に賛同している「美容室ガレリア」さんにお話を伺いました。



31cm以上の長さでゴム留め

【お問い合わせ】

「JHD&C ホームページ」
(賛同サロンはこちらから)
<http://jhdac.org/>
「美容室ガレリア」(hair plus Galleria)
駿河区栗原 20-1 1F
TEL.054-208-5208

自分の髪を「寄付」すると、医療用ウィッグ（かつら）に生まれ変わり、無毛症や小児がんなどで頭髪に悩みを抱える18歳以下の子どもたちへ完全無償で提供される、ヘアドネーションと呼ばれる活動が今広がっています。

ヘアドネーションは1990年代に米国で普及し、日本では2009年に「NPO法人 Japan Hair Donation & Charity (以下 JHD&C)」が設立されました。JHD&C の理念に共感し、その活動にボランティアで協力、JHD&C に登録をしている理・美容室を賛同サロンといいます。静岡市内では20軒の理・美容院が登録しています。

駿河区栗原にある「美容室ガレリア」もそのひとつです。代表取締役の内海龍夢さんは、「何か自分にできる社会貢献の機会を探していました。お客様から病気による頭髪の悩みや相談を受ける中で、ヘアドネーションであれば長く協力していくことができると思い2年前から始めました。今ではさまざまな世代の方が活動に賛同し、小学生の子どもたちも自発的に協力してくれます。」と話します。髪の寄付は年々増加していますが、それを上回る支援希望者がおり、また、ウィッグ作成時には高額な費用が掛かるため、加工費用を集めることも課題となっています。

「今後、より多くの支援の輪が広がり、需要と供給のバランスが取れるようになつてほしい。」と話す内海さん。

困っている人を助けたいという温かな想いが連鎖して、この活動が支えられています。ひとつの多く多くのウィッグが子どもたちに届くことを願います。

私たち 静岡市の地域福祉活動を応援しています。

空き家対策と円満相続かけこみ寺

今、空き家。いずれ空き家。
空室で困っている古いアパート。 初回相談無料
この先、相続どうしよう…
※ 空き家・中古住宅・土地買い取ります
すべては判断能力のあるうちに…

マイヘーストロ 静岡 静岡新聞
静岡新聞社運営サイトで掲載中です!

269-5525 (株)あいしん不動産
静岡市駿河区大谷1丁目9-8 営業(2)13207
空き家問題解消推進委員会・家族信託推進委員会 空き家かけこみ寺 検索

訪問マッサージ 静岡市内に出張施術いたします

健康保険 対応可能!
(医師の同意が必要です)
歩行困難で、麻痺・拘縮
(足筋の動きに制限がある)等の
ある方が対象

訪問マッサージ ほほえみ静岡
8:30~17:30 円盤・会員料(税込)
ホームページ ほほえみ静岡 案内

20歳～64歳の皆様へ 心・身体の病気で日常生活に支障のある方 公的年金の障害年金をもらい忘れていませんか？

統合失調症、知的、発達障害、うつ病などの心の病気
脳梗塞、がん、人工透析、人工関節、人工肛門、眼、耳
身体の傷病で日常生活に支障のある方、
該当する傷病は多数です。「該当するかな？」
と思われる方まずは無料相談を実施して
おります。お気軽にお問合せください。
しづおか障害年金サポートオフィス
運営 みづき社会保険労務士事務所
静岡市葵区御幸町6-10 静岡マルイ8階
受給例
障害厚生年金2級 うつ病の方 年間130万円
障害基礎年金1級 脳梗塞の方 年間98万円
障害厚生年金3級 人工関節の方 年間59万円
無料相談 054-263-8558
しづおか障害年金サポートオフィス Q検索

「笑顔相続の道先案内人」 相続の事なら相続診断士へ お気軽にご相談下さい

相談無料
・不動産の売却
・不動産の名義変更 等
054-277-9400
不動産取引業
株アイズホーム
静岡市葵区川合3丁目14-14
http://aizuhome.com/